

みらい

一般社団法人高次脳機能障害ネットワーク
会報 第 1 号

〒454-0906

名古屋市中川区開平町一丁目 35 番地

TEL・FAX 052-352-0677

TEL・FAX 050-3644-9151

メールアドレス : mirai_aichi@koujinou.net

ホームページ : <http://koujinou.net>

平成 26 年 11 月 1 日

みらい愛知事業所 発行



目 次

念願の作業所を立ち上げて ······	2
ヘルパー養成講座開催 ······	3
中日新聞取材 ······	4
チャレンジハウスみらいの紹介 ······	4
お知らせ ······	6

高次脳機能障害者的生活支援をする新法人が設立されました！



2014年3月に愛知県名古屋市中川区で高次脳機能障害者の支援を目的とした一般社団法人が設立されました。この社団法人は生活版ジョブコーチ手法を名古屋で初めて取り入れたヘルパー事業所です。

昨年 10 月より準備期間を設け、役員一同着々と準備を進めました。代表理事には長年、高次脳機能障害の家族会 NPO 法人脳外傷友の会みづほの代表を務めておりました尾山芳子が就任いたしました。名前は「一般社団法人高次脳機能障害ネットワーク みらい愛知」と名づけました。また、8 月 30 日（土曜日）には就労継続 B 型作業所「チャレンジハウスみらい愛知」の開所式が行われました。

20 年以上もお世話になっておりました阿部順子先生、名古屋市総合リハビリテーションセンターの長谷川真也氏、NPO 法人脳外傷友の会みづほ、NPO 法人高次脳機能障害者支援笑い太鼓、その他にも大勢の方が参加してくださいました。ありがとうございました。



生活版ジョブコーチとは、日本損害保険協会からの助成金を得て 2009 年から 3 年間「生活適応援助（生活版ジョブコーチ）研究事業」をテーマに名古屋リハを中心とし専門職による研究グループと全国 5 都道府県の 10ヶ所の当事者団体や機関の協力のもと行われました。1 年目は生活適応援助者養成研修、2 年目・3 年目は実際に生活適応援助者派遣試行を行い、課題の洗い出しと生活支援システムや制度との関係について検討しました。

対象者 :名古屋リハを利用している当事者の活動の場に参加した脳外傷者の家族（身体障害が重いケースは除く）に調査項目に基づいて、支援度、支援の具体的な内容の聞き取り。

調査項目

- <生活行動>高次脳機能障害の影響による「基本的生活行動」や「ADL 関係」の 10 項目
- <生活技術>一連の確認行為が必要な行動で「調理」「買物」「公共交通利用」など 8 項目
- <生活管理>「大切な物の管理」や「金銭管理」「火の始末」などについての 9 項目
- <社会活動>「契約手続き」や「診察対応」など対社会面についての 7 項目
- <問題行動>「態度・表情」「依存症」「思い込み」など社会的行動障害関係の 14 項目

調査結果

支援の程度を 1 群から 5 群まで分類した結果、従来家族が在宅生活で困っている支援は、施設の自立訓練を継続的の行う、いわば訓練的かかわりを持つことで自立度を高めることが可能と考えられ、これらの支援を福祉サービスの利用という“社会化”につなげることが想定できました。みら

い愛知事業所ではこの手法を取り入れてヘルパー事業所を立ち上げました。

生活版ジョブコーチ手法・支援（派遣システム）

- ・本人たちが落ち着いて生活できる場所は自宅がほとんどです
- ・家族が支援できなくなったら、在宅生活の継続が困難になる

そんな時に生活の場面に介入し、専門的な知識を取り入れ、生活をうまく送れるよう援助、声掛け、見守りする生活版ジョブコーチ手法・支援が必要になる。

みらいのヘルパーたちは高次脳機能障害者養成講座（平成 26 年 2 月に 3 回開催）の研修をしっかり受けた専門家です。具体的なヘルパー支援は、家事支援として調理、洗濯、買い物、後片付けなどの声掛け、見守り支援、移動支援として床屋や歯医者、病院の付き添い、主治医からの伝言を家族に伝える等をしっかりとサポートさせていただいております。

その他の支援、金銭管理や物の管理、日常生活上書類更新や作成、近所付き合い（地域との関係）等、余暇活動での楽しみ方支援や旅行の付き添い等をサポートします。

高次脳機能障害者を支援する支援者養成講座を開催しました。

26年2月9日(日) 12:45受付 13:10挨拶 13:15~16:00

13:15~14:30 「高次脳機能障害とは」 講師：元名古屋市総合リハ 松田妙子氏

14:30~15:30 「当事者の生活実態と願い」 講師：NPO 法人笑い太鼓代表 星川広江氏 昨日まで学校に、職場にと元気良く生活していた人がある日突然

「高次脳機能障害」と診断される

26年2月16日(日) 12:45受付 13:00挨拶 13:15~16:00

13:15~15:15 「生活版ジョブコーチ支援」 講師：岐阜医療科学大学保健看護学科教授 阿部順子氏

就労も大事な支援ですが、その前に必要な支援それは日々の生活ではないかと思われます。普通にできてた事が事故や病気のあとできなくなってしまった彼らの生活、一番苦労しているのはご本人かと思います。周りの人の少しの理解と優しさがあれば彼らも社会参加ができます。生活の中でどのような支援が必要か見守り支援とは何かを研修してみましょう。

26年2月22日(土) 12:45受付 13:00挨拶 13:15~15:30

13:15~13:45 「母として今後の支え方」 みらい愛知事業所 代表 尾山芳子

13:45~14:15 「生活版ジョブコーチ手法を経験して」 ヘルパー 二村浩子氏

14:15~15:30 「意見交換会」「修了証授与」

講習会をふりかえりながら感想を話し合いましょう。最後に修了証授与。



中日新聞取材を受け、掲載されました。

平成 26 年 6 月 18 日掲載



●高次脳機能障害者を支える
訓練で自立をアシスト



26 年 10 月 5 日掲載

名古屋に作業所、生活訓練も

高次脳機能障害者を支援

平成 26 年 10 月 11 日ジャパンタイムズ掲載

CHUNICHI SHIMBUN
A new facility for people with traumatic brain injuries has opened in Nakagawa Ward, Nagoya, to offer the kind of care that, say, traffic accident victims often need.

CHUBU CONNECTION
Having seen her son's struggle, Yoshiko thought that young patients "need a place that trains them how to be independent, and where they feel they belong."

The ultimate aim is to ensure that when patients' parents or partners pass away, they will be in a position to carry on with life independently.

A traumatic brain injury can hamper a person's speech and cognitive abilities, as well as behavior and memory. It occurs when an exterior blow creates neurological or cerebral damage. Typical causes are traffic accidents and falls, which cause bleeding or blockage in blood vessels.

きらり人生では生活版ジョブコーチ手法を取り入れてのヘルパー事業所として取り上げていただきました。また、就労継続 B 型作業所としては作業だけではなく、園芸、飼育、調理や買い物、洗濯など生活訓練も取り入れての作業所は珍しいということで取り上げていただきました。

1 週間後 10 月 11 日のジャパンタイムズにも取り上げていただくこともでき、外国の方にも高次脳機能障害を知っていただく機会もできました。もちろん、高次脳機能障害という呼び名は日本だと聞いております。海外では脳損傷として取り扱われています。過去に勉強した中では戦争に行かれた若い兵士たちが爆撃などで頭に強いショックを受け、戦争から戻ってこられてからの大勢の高次脳機能障害者が不自由な生活を送っておられるという記事も読んだことがあります。言葉は通じなくても訪ねてこられたら良いアドバイスができたら良いなと思っています。

チャレンジハウスみらい愛知の紹介です。

9：15～10：00	作業	15 分休憩		午後からの訓練及び練習
10：15～11：00	作業	15 分休憩	月	公園散策・デジカメ撮影・金銭管理
11：15～12：00	作業	昼の準備	火	調理訓練・洗濯訓練・整理整頓
12：15～13：15	昼食	15 分準備	水	買い物訓練・金銭訓練・アイロン
13：30～14：15	作業又は訓練		木	金銭管理（家計簿のつけ方）
14：30～15：30	作業又は訓練		金	整理整頓・洗濯・アイロン・PC
15：30～16：00	ノート記録		土	調理実習（第2・第4）

平成 26 年 8 月 1 日から開所しました「チャレンジハウスみらい愛知」では 1 週間のスケジュールが決まっています。雨天の場合はこの限りではありません。

また、通所の時間もそれぞれに違いますので支援方法も違います。ご本人やご家族の望むことをしっかりと相談しながらできることからお手伝いをさせていただいております。

ヘルパー事業所みらい愛知も併設しておりますので、場所を覚えていただくまでは移動支援を利用して送り迎えもさせて頂いておりますので安心して作業所まで通所して頂くことができます。

仕事の内容です。



冊子の DM



値札つけ



ポケットティッシュ広告入れ

午後からの訓練です。



買い物訓練



買い物訓練



フルーツポンチ



ギョーザ作り



ヤキソバ作り



お好み焼き作り

事務局からのお知らせ



■チャレンジハウスみらい愛知 体験学習会開催

11月 10 日（月）～11月 14 日（金）10 時～15 時

11月 17 日（月）～11月 21 日（金）10 時～15 時

就労継続支援 B 型作業所チャレンジハウスみらいの一日を体験してみませんか？

実際の作業やレクリエーション、生活訓練などの利用をお試しいただけます。

当社は 450 円で給食もご試食いただけます。毎日専属調理師が日替わりメニューで作っていますので、ぜひご試食下さい。通所者の皆様には 1 食 175 円でご提供しています。

興味のある方、前日までにお申し込みください。

給食メニューの一覧です



野菜炒め、シチュー、サラダ



オムライス、オニオンスープ



五目チラシ、チンジャオロース

■車いすの方もご利用いただけるようになりました

これまでトイレがご利用いただきにくかったのですが、1 階トイレを改装しバリアフリーになりましたので、車いすのかたにも施設をご利用いただけるようになりました。

■移動支援ご利用ください

名古屋市及び周辺市を対象に移動支援サービスを提供しています。

ちょっとした外出や毎日の買い物、通院・通学にもご利用いただけます。定期的に合同での移動支援を利用した遠足も実施しています。

また 8 月には就労継続事業も立ち上げ、慌ただしい毎日をおくっています。これから色々な問題も出てくるかと思いますが頑張ります、どうぞご支援ご協力をよろしくお願いいたします。
尾山芳子

2 月に高次脳機能障害者を開催しました。ヘルパー事業所を立ち上げる計画を立ててから 2 カ月足らずでの準備でしたから不備も多々ありご迷惑をおかけしました。

編集後記